

ハイマダラノメイガ（ダイコンシンクイムシ）の発生に注意！

9月中旬現在の巡回調査では、ダイコンでハイマダラノメイガが例年比やや多い発生でした（寄生株率6.7%、例年値3.1%）。

9月25日に農業総合研究所内のダイコン、キャベツ及びブロッコリーを調査したところ、食害が目立っていました（表1）。

また、9月第2半旬以降、フェロモントラップへの誘殺数が急増しています（表2）。

すでにダイコンの播種、キャベツやハクサイの定植を終えておられるところが多いと思いますので、本虫の発生に十分注意し、被害の拡大をくい止めてください。

- 1 本虫は8～9月が高温に経過した年に発生が多くなり、今後1か月の気温も平年並または高いと予想されています（9月21日大阪管区气象台発表）ので、今後も多発が懸念されます。
- 2 幼虫は頭部が黒く、体に褐色のすじ状の模様があるのが特徴です。
- 3 幼虫は心部に潜り込み、まだ開いていない生長点の小さな新葉を糸でつづり合わせて内部から食害します。早期発見に努めるため、心部を中心に観察し幼虫を発見したら、ただちに防除してください。
- 4 育苗中は防虫ネットや寒冷しゃなどで被覆し、成虫の飛来・産卵を避けてください。

表1：アブラナ科野菜のハイマダラノメイガ寄生状況調査

調査作物名	寄生株率（%）	寄生虫数	幼虫数は10株当たり
			被害株率（%）
ダイコン	8.0	0.8	28.0
キャベツ	6.0	0.8	20.0
ブロッコリー	0.0	0.0	6.0
平均	6.8		

調査株数：50株、9月25日調査

表2 フェロモントラップへのハイマダラノメイガ誘殺数の推移

(頭)

月 半旬	平成19年	平成18年
9.1	0.0	0.0
9.2	11.2	0.0
9.3	23.8	24.8
9.4	13.0	3.2